財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

１．重要な会計方針

（１）有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。

（２）固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法によっている。

取得価額 20 万円未満のものについては３年間の均等償却によっている。

（３）引当金の計上基準

①退職給付引当金・・・退職一時金制度に基づき当期末に発生していると認められる額を計上している。

②賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

（４）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は､次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産特定預金	150,000,000			150,000,000
投資有価証券	50,000,000			50,000,000
小　　計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	16,167,984		1,084,634	15,083,350
減価償却引当預金	46,346,010	2,767,558	4,514,708	44,598,860
ｱﾜﾋﾞ･ｸﾙﾏｴﾋﾞ種苗生産積立預金	16,000,609			16,000,609
ﾏﾀﾞｲ･ﾋﾗﾒ中間育成積立預金	2,997,540			2,997,540
ｸﾛﾏｸﾞﾛ資源管理積立預金	221,000			221,000
水産業経営安定促進事業積立金	811,992,048	77,367,000	60,598,254	828,760,794
小　　計	893,725,191	80,134,558	66,197,596	907,662,153
合　　計	1,093,725,191	80,134,558	66,197,596	1,107,662,153

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産特定預金	150,000,000	(150,000,000)		
投資有価証券	50,000,000	(50,000,000)		
小　　計	200,000,000	(200,000,000)		
特定資産				
退職給付引当預金	15,083,350			(15,083,350)
減価償却引当預金	44,598,860		(44,598,860)	
ｱﾜﾋﾞ・ｸﾙﾏｴﾋﾞ種苗生産積立預金	16,000,609		(16,000,609)	
ﾏﾀﾞｲ・ﾋﾗﾒ中間育成積立預金	2,997,540		(2,997,540)	
ｸﾛﾏｸﾞﾛ資源管理積立預金	221,000		(221,000)	
水産業経営安定促進事業積立金	828,760,794	(828,760,794)		
小　　計	907,662,153	(828,760,794)	(63,818,009)	(15,083,350)
合　　計	1,107,662,153	(1,028,760,794)	(63,818,009)	(15,083,350)

４．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	帳簿価額	時価	評価損益
千葉県債	50,000,000	44,750,000	△5,250,000
合　　計	50,000,000	44,750,000	△5,250,000

５．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
千葉県栽培漁業推進体制整備促進事業費補助金	千葉県	0	23,900,000	23,900,000	0	
東京湾漁業総合対策事業費補助金	千葉県	0	6,000,000	6,000,000	0	
漁業経営基盤強化指導事業費補助金	千葉県	0	5,010,000	5,010,000	0	

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金 漁業振興事業助成金	(一財)千葉県漁業振興基金	0	2,881,000	2,881,000	0	
合　　計		0	2,881,000	2,881,000	0	

６．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内　　容	金　　額
経常収益への振替額	
基本財産運用収益の振替額	267,465
受取寄付金の振替額	60,598,254
合　　計	60,865,719

７．その他

（退職給付関係）

（１）採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

（２）退職給付債務及びその内訳

退職給付債務　　15,083,350 円

退職給付引当金　15,083,350 円

（３）退職給付費用に関する事項

勤務費用　　2,084,088 円

退職給付費用　　2,084,088 円

（４）退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務等の計算に当たっては、退職一時金制度に基づき当期末に発生していると認められる額を計算している。